**教材名　なんだろう、なんだろう**　**「自分」ってなんだろう（光村図書ｐ.120）**

**1.本教材について**

**▼　光村図書の「なんだろう、なんだろう」シリーズは該当する内容項目が書かれていないが、道徳的な問題に向き合い、判断する場合、主語は「私は」となるので、「自分ってなんだろう」と考えることは極めて重要である。「自分とは何か」ということは人間がずっと考えてきたテーマでもある。自己の確立が始まる小学校高学年は、このテーマを考えるにはふさわしい時期である。**

**▼ ヨシタケシンスケさんの絵は繰り返し、「自分って、なんだろう」と問いかけている。問いかけは次の6つである。**

**①「自分」が自分のことを忘れてしまったらどうなるのだろうか。みんなが僕のことを忘れてしまったらどうなるのだろうか。**

**②成長して行くにつれて「自分」はどうなるのだろうか。今の「自分」と大人になったときの「自分」は同じなのだろうか。**

**③「自分」のことは自分だけで決められるのだろうか。**

**④「自分」のことを他の人に分かってもらうことはできるのだろうか。**

**⑤「自分」のことは自分がわかるのだろうか。「自分」のことを「外」から見ることができるのだろうか。**

**⑥「ぼくにはぼくがついている」ってどういう意味だろうか。どんなことがあっても「自分」には自分がついているのだろうか。自分のことをじゃまくさい、と思うときはないのだろうか。**

**2.本教材を扱う際に特に注意すべきだと考えたこと**

**▼この授業は、さまざまな機会に「自分」について考える出発点にしたい。**

**3.指導過程（1限目）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **子どもの活動や教師の発問等** | **留意点** |
| **導入** | **各自で教科書を読む。質問を受ける。**  **それまでの自分のことを、すっかり忘れてしまったら、君はどうする、と問いかける。今日は、自分のCMを考えて次の時間に発表することを伝える。** | **じっくり読んでもらう。**  **何人かに聞いてみるが、答えには余りこだわらない。** |
| **展**  **開** | **各自にA3の紙を用意する**  **①自分の特徴、特に得意なことを中心に書き出す。できるだけ多く、20項目位を目標に書き出す。ポストイットに書いて紙に貼っていく。**  **②他の子どもの特徴(良い点)をポストイットに書いて**  **その子どもの紙に貼り付けていく。5人を目標に他の子どもの良い点を書く。**  **③ポストイットを眺めて、一番自分らしい特徴を決**  **め、それを15秒間の「自分のCM」にする。**  **なぜ、その特徴を選んだのか、その特徴をこれか**  **らどうしていきたいのか、等を考えながら、CMのス**  **トーリーを考える。** | **各自に2名だけ、良い点を**  **書く相手を割り振ってお**  **く。**  **出来具合を見ながらCM**  **を作るに際して注意すべ**  **きことをアドバイスする。**  **15秒は短いので、伝えたい**  **ことを選ぶ必要があること**  **強調する。** |
| **まとめ** | **次の時間に全員が発表することを確認する。** | **発表には小道具を使ってもよいことを伝える。サッカーボールや音楽など** |

**4　指導過程（2限目）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **子どもの活動や教師の発問等** | **留意点** |
| **導入** | **前回の授業の内容を確認する。発表の順番を伝える。**  **各自、発表の準備をする。** |  |
| **展**  **開** | **発表する。全員に発表してもらうために授業者が時間**  **を管理する。**  **発表ごとに質疑応答の時間を設ける。** |  |
| **まとめ** | **各自、振り返りを書く。「自分」について考えたことを書く。** |  |

**この指導案の展開の部分は、電通が社会貢献活動の一環として開発した教育プログラム「広告小学**

**校」の「自分探検CM」を参考にしています。くわしくは**[**http://www.dentsu.co.jp/komainu/**](http://www.dentsu.co.jp/komainu/)**を**

**参照**

**参考　岡田よしたか　「ぼくはいったいなんやねん」(絵本､　佼成出版社)**